

リーダーが押さえておくべき会計知識

1日で学ぶ! はじめての経営数字

[中小企業大学校九州校開催]

研修のねらい

厳しい経営環境下で中小企業が成長・発展していくためには、経営層や財務会計担当者だけでなく事業部門を支えるリーダーが決算書の見方を理解し、全社的に「経営数字」の視点で経営課題に取り組み、利益を確保していくことが重要です。また、昨今の目まぐるしく変化する経営環境の中で、事業部門における判断、意思決定は一層複雑化しており、勘や経験に過度に頼ることなく客観的な評価である自社の「経営数字」を活かしていくことが有効となります。

本研修では決算書の見方を身につけ、経営状態やお金の流れ、収益構造を把握する勘所を理解するとともに、「経営数字」を実務に活かすポイントや方法について学びます。

研修のポイント

- ✓ 決算書（貸借対照表、損益計算書）の見方を学びます。
- ✓ 決算書から経営状態や収益構造を読み解くポイントを学びます。
- ✓ 「経営数字」を実務に活かすポイントや方法を学びます。

研修期間

2026年

7/9^木

(1日間 6時間)

対象者

管理者、新任管理者

- ・「経営数字」を実務に活かしたい事業責任者やその候補者
- ・財務・会計に苦手意識のある方
- ・決算書の見方が分かるようになりたい方

定員 ▶ 24名

受講料 ▶ 16,000円(税込)

会場

中小企業大学校 九州校

福岡県福岡市博多区網場町2番1号

月日	時間	科目	内容
7/9 ^木	9:50-10:00	開講式	オリエンテーション
	10:00-11:00	リーダーに必須な知識・スキルとしての「経営数字」	リーダーが「経営数字」を実務に活用していく必要性、有効性を理解し、その実践のポイントについて学びます。 ・リーダーに求められる「利益感覚」「コスト意識」 ・「経営数字」を活用する有効性とその実践のポイント
	11:00-12:30	「経営数字」の基本	「経営数字」を活用する上で必要となる決算書の見方のポイントを学びます。 ・決算書とは（意義・目的、種類と関係性、決算書の成り立ちなど） ・貸借対照表、損益計算書とは（役割・必要性、構造、読み取れることなど） ・決算書の見方のポイント
	13:30-15:30		
	15:30-17:00	「経営数字」の実践的活用法	明日から実践できる「経営数字」の活用法を学びます。 ・収益構造を把握するポイント ・事業活動のPDCAサイクルの評価に活かすポイント ・事例から学ぶ実践的活用のヒント
	17:00-17:10	終講式	

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※お昼休みは12:30～13:30を予定しておりますが、予告もなく変更する可能性がございます。ご了承ください。

講師紹介(敬称略)

久保公認会計士事務所
代表

久保 道晴(くぼ みちはる)

2006年、公認会計士試験に合格し、あずさ監査法人(現 有限責任あずさ監査法人)に入所。2011年に独立後、中小企業の事業承継、後継者育成に特化した支援を行う。公認会計士・税理士・中小企業診断士・1級ファイナンシャル・プランニング技能士。主な著書「オーナー社長の後継者育成読本」「ソリューション営業のためのFP実践講座」(共著)「事業承継入門講座」(共著)など。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小企業大学校 九州校

Be a Great Small.
中小機構お申し込み方法、お問い合わせ先等は裏面をご覧ください。
Webからもご覧いただけます。

中小企業大学校 九州校

検索